R4.9.5

「ケーブルクレーン運転業務の実務講習会」の開催を支援しました

～六甲砂防事務所～

砂防堰堤工事等においてケーブルクレーンの運転業務に携わる技術者不足が深刻化しており、国、県による入札が不調になるなど砂防堰堤等の整備に支障が生じる状況が複数ありました。

そのため、令和２年に国・県及び兵庫県建設業協会から三田建設技能研修センターに、技術者不足の改善とスキル向上を目的とした実務講習の実施を要望し、講習会の開催を支援しています。当該講習会は令和２年より毎年実施され、今年で３回目の実施となります。

概要

日　　時：令和４年９月５日（月）１２：５０～１７：００
実施場所：〈講義会場〉六甲砂防事務所〈実務会場〉日柳第二堰堤補強工事現場(六甲砂防発注工事)
〈現場見学〉伯母野山東堰堤(六甲砂防発注工事)
実施機関：職業訓練法人近畿建設技能研修協会　三田建設技能研修センター
受講人数：７名
講　　師：興国索道(株) 下前 洋一氏
現場説明：東六甲出張所 鉈橋所長
実施内容：・ケーブルクレーンの取り扱い説明等
・ケーブルクレーンの実務等
・現場見学

○ケーブルクレーンの取り扱い説明等

三田建設技能研修センターの福本所長より、講習開催までの経緯の説明と、挨拶をしていただきました。

その後、興国索道(株)の下前氏より、索道の歴史、ケーブルクレーンの構成、架設作業、ウインチの各部名称、クレーンの点検、ワイヤーの廃棄基準、関係法令、必要な資格等ついて講習を受けました。

講習会の状況

○ケーブルクレーンの実務等

７名の参加者が１人ずつ順番にクレーンの操作を行い、吊り荷を運搬し実際の運転を行いました。

ケーブルクレーンの操作は危険な作業になり、重大事故も起きています。操作に慣れると共に、玉掛作業では吊り荷の下に入らないように十分に気をつけるなどの注意がありました。

工事現場での実施状況

ウインチ操作状況

○現場見学

伯母野山東堰堤の工事現場を見学

○受講生の感想

・索道の法線が直線でも、折れている場合でも、支柱箇所でのトラブルが多いと説明を受けたので、支柱箇所を通る時には、ゆっくり操作しようと思います。

・ケーブルクレーンの吊り金具を巻き上げるときには、巻き上げ過ぎによるワイヤーの切断事故にならないよう、ワイヤーと吊り金具の離隔に注意しようと思います。

・ケーブルクレーンの操作に慣れてきても、操作ミスなどで吊り荷と作業員との接触事故が無いように、初心を忘れず操作しようと思います。

【お問合せ先】
国土交通省　近畿地方整備局〒658-0052　神戸市東灘区住吉東町3-13-15
六甲砂防事務所　工務課　　TEL：078-851-0535